

豊富な森林資源の有効活用

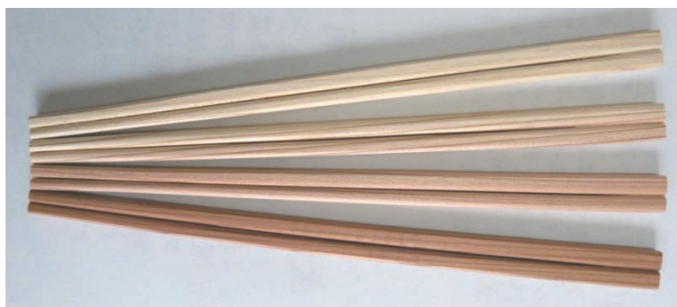
山十建設株式会社 代表取締役 滝沢康成
〒968-0326 福島県大沼郡金山町大字大塩字二本木 3402
TEL 0241-56-4116 FAX 0241-56-4668

営業基盤である金山町は面積のおよそ9割が森林で、その資源の活用は大きな課題となっています。当社はその森林資源を有効に活用すべく二つの事業を行っております。

1. 間伐材・建築資材の端材を利用した奥会津産杉割り箸“もりもり<森守>箸”の製造販売

森を育てる木材の有効利用、日本の食文化を担ってきた木製品の見直しを行い、環境負荷のかからない生活様式が求められている今、山林から回収した木材は少しも無駄にせず、建築材・建設資材等に活用した端材を利用し割り箸の製造を行っています。製造工程で出る端材おがくず、使い終わった箸もできる限り回収し、乾燥機の燃料としてすべて再利用します。したがって割り箸を作る工程では一切無駄はありません。

今だからこそ、もう一度昔に戻ってみませんか・・・。



八寸元禄箸

2. 地域活性化と森林資源の有効活用を目的としたドーム型テント『Dom 'up(ドムアップ)』の運営

金山町の沼沢湖畔に昨年の夏オープンした『Dom 'up 沼沢湖』。ベルギーからやってきた、日本初上陸・世界初の昇降システムを装備したドーム型テント『Dom 'up (ドムアップ)』、2本の樹木を利用した空間に設置するこのドムアップは、少子高齢化が加速している金山町への誘客による地域活性化の起爆剤として、また森林という資源を活用し、守り、育て、次世代に残していく一端となることを目的とし、今までにない宿泊の形を提供するものとして設置しました。設置にあたっては森林や利用する木への負担を最小限にし、撤去後は“ No Trace ” (痕跡を残さない) という哲学のもと事業を行っております。

静寂な森の中、沼沢湖のほとりにある特別な空間で特別なひとときを体験してみませんか？

